

学 年

5 年

## 分数のかけ算とわり算①

年 組 氏名

- 1 (1)  $\frac{2}{7} \times 3$  の計算を次のように考えました。

□にあてはまる数を書きましょう。

$\frac{2}{7}$  は、 $\frac{1}{7}$  が □ こぶん。

$\frac{2}{7} \times 3$  は、 $\frac{1}{7}$  が □ × □ で □ こぶん。

だから、

$$\frac{2}{7} \times 3 = \frac{\square}{7} \times \square = \frac{\square}{7}$$

- (2)  $\frac{3}{5} \div 2$  の計算を、次のように考えました。

□にあてはまる数を書きましょう。

$3 \div 2$  はわり切れないので、分子がわり切れる数になるように、

$\frac{3}{5}$  の分母と分子をそれぞれ 2 倍する。

$$\frac{3 \times \square}{5 \times \square} = \frac{\square}{10} \text{ となるので、}$$

$$\frac{\square}{10} \div 2 = \frac{\square}{10} \div 2 = \frac{\square}{10}$$

学 年

5 年

## 分数のかけ算とわり算①

年 組 氏名

- 1 (1)  $\frac{2}{7} \times 3$  の計算を次のように考えました。

□にあてはまる数を書きましょう。

$\frac{2}{7}$  は、 $\frac{1}{7}$  が  こぶん。

$\frac{2}{7} \times 3$  は、 $\frac{1}{7}$  が   $\times$   で  こぶん。

だから、

$$\frac{2}{7} \times 3 = \frac{\text{} \times \text{}}{7} = \frac{\text{}}{7}$$

- (2)  $\frac{3}{5} \div 2$  の計算を、次のように考えました。

□にあてはまる数を書きましょう。

$3 \div 2$  はわり切れないので、分子がわり切れる数になるように、

$\frac{3}{5}$  の分母と分子をそれぞれ 2 倍する。

$$\frac{3 \times \text{}}{5 \times \text{}} = \frac{\text{}}{10} \text{ となるので、}$$

$$\frac{\text{}}{10} \div 2 = \frac{\text{}}{10} \div 2 = \frac{\text{}}{10}$$

学 年

5年

## 分数のかけ算とわり算②

年 組 氏名 \_\_\_\_\_

①  $\frac{2}{7} \div 3$  の計算を次のように考えました。

(1) □にあてはまる数を書きましょう。

【考え】

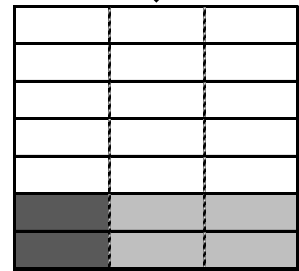
$\frac{2}{7}$  は、1を □ かに分けた □ こぶん。

$2 \div 3$  は、わり切れないので、右の図のように、

$\frac{2}{7}$  を3つに分けます。

すると、1を □ × □ かに分けた2つ分になるので

$$\frac{2}{7} \div 3 = \frac{2}{\square \times \square} = \frac{\square}{\square}$$



(2) 分数÷整数の計算の仕方をまとめましょう。

分数÷整数の計算は

すればできます。なぜかというと、

学 年

5 年

分数のかけ算とわり算②

年 組 氏名

①  $\frac{2}{7} \div 3$  の計算を次のように考えました。

(1) □にあてはまる数を書きましょう。

【考え】

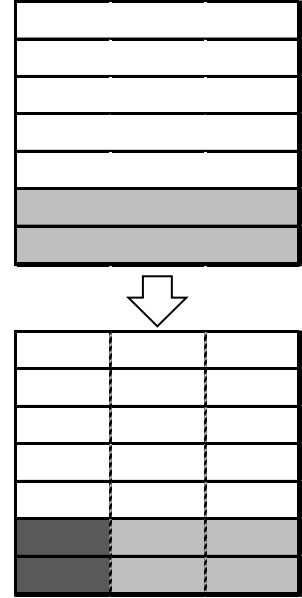
$\frac{2}{7}$  は、1を □ 7 □ に分けた □ 2 □ こぶん。

$2 \div 3$  は、わり切れないので、右の図のように、

$\frac{2}{7}$  を3つに分けます。

すると、1を □ 7 □ × □ 3 □ に分けた2つ分になるので

$$\frac{2}{7} \div 3 = \frac{2}{\square 7 \times \square 3} = \frac{\square 2}{\square 2 \ 1}$$



(2) 分数÷整数の計算の仕方をまとめましょう。

【例】 分数÷整数の計算は

分母にわる数をかければできます

すればできます。なぜかというと、

例えば、3でわるときは、もとになる分数を3倍細かくしないといけないので、分母を3倍すればいいからです。

整数でわるときは、分母を大きくすれば、いいですね。